

研修期間が公表すべき情報の内訳

☆法人情報

法人格	学校法人
法人名称	学校法人 栗原学園
住所等	〒090-0817 北見市常盤町3丁目14 (0157)24-1560 URL http://www.kurihara.ac.jp
代表者	理事長 栗原 寛隆
研修事業担当理事	棧 邦雄 (学園長)

☆研修機関情報

事業所名称	オホーツク社会福祉専門学校 〒090-0817 北見市常盤町3丁目14 (0157)24-1560																										
理念	介護される人の思いに寄り添い、根拠に基づき考えるケアができる人材の育成																										
学則	学 則																										
	<p>1 研修の目的 基礎的な介護業務を行うことができるよう、介護者として最低限度の知識・技術を習得させる</p> <p>2 研修の名称 北海道介護職員初任者研修</p> <p>3 研修の要旨</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業所の所在地</th> <th>研修形態</th> <th>修業年月</th> <th>研修期間</th> <th>定員(人)</th> <th>受講料(円)</th> <th>受講対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北見市</td> <td>昼間</td> <td>8カ月</td> <td>8カ月</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>学校法人 栗原学園学生</td> </tr> <tr> <td>北見市</td> <td>昼間</td> <td>8カ月</td> <td>8カ月</td> <td>40</td> <td>4,860</td> <td>委託訓練又は 求職者支援訓練 訓練生</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 受講手続き (1) 募集期間 学校法人栗原学園学生については入学許可日より募集し、開始3日前に締め切る。委託訓練生又は求職者支援訓練生(対象訓練科目)については、当校募集は行わない。 (2) 受講料納入方法 学校法人栗原学園学生の受講料(テキスト・実習費を含む)は授業の一環とみなし徴収しない。委託訓練生又は求職者訓練訓練生については開校日にテキス</p>						事業所の所在地	研修形態	修業年月	研修期間	定員(人)	受講料(円)	受講対象者	北見市	昼間	8カ月	8カ月	100	—	学校法人 栗原学園学生	北見市	昼間	8カ月	8カ月	40	4,860	委託訓練又は 求職者支援訓練 訓練生
事業所の所在地	研修形態	修業年月	研修期間	定員(人)	受講料(円)	受講対象者																					
北見市	昼間	8カ月	8カ月	100	—	学校法人 栗原学園学生																					
北見市	昼間	8カ月	8カ月	40	4,860	委託訓練又は 求職者支援訓練 訓練生																					

ト代のみ徴収。

(3) 授業料返還方法

授業の一環であり徴収していないため、理由の如何を問わず受講料は一切返還しない。

5 カリキュラム

科目及び研修期間は、次に掲げるとおりとする。

科目名	研修期間
1 職務の理解	6時間
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
3 介護の基本	6時間
4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	9時間
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
6 老化の理解	6時間
7 認知症の理解	6時間
8 障がいの理解	3時間
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	7.5時間
10 振り返り	4時間
合計	130時間

6 研修の免除

免除科目は、次の通りとする。ただし、受講者からの所定の免除申請があった場合に限る。

免除条件	免除可能科目
看護師	すべての科目を免除
居宅介護従事者養成研修 (1級課程・2級課程)修了者	すべての科目を免除

7 主要テキスト

介護職員初任者研修過程テキストⅠ～Ⅲ 株式会社日本医療企画
介護職員初任者研修テキスト第1巻～第3巻 一般財団法人 長寿社会開発センター
介護職員初任者研修テキスト1・2 中央法規出版

8 修了認定

(1) 出欠の確認方法

各教科の開始前に強化担当が出欠確認を行う。その際、出欠を出欠簿に記載する。

(2) 成績の評定方法

講義・演習研修教科については、成績の評定は行わない。

(3) 修了の認定方法

- ・ 研修教科のすべてに出席しなければならず、筆記試験1時間(カリキュラム時間数以外)による修了評価を得たもの
- ・ 修了評価の基準は下記のとおりである。
 - ① 基本的な介護を実践するために最低限必要な知識・技術を理解できる。
 - ② 介護の実践については、正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が必要であることを理解できる。

	<p>③ 自立の助長と重度化防止・遅延化のために、介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させるという視点が大切である。</p> <p>④ 利用者ができるだけなじみのある環境で日常的な生活を送れるようにするために、利用者一人ひとりに対する生活状況の的確な把握が必要であることを理解できる。</p> <p>⑤ 他者の生活観及び生活の営み方への共感、相手の立場に立って考えるという姿勢を持つことの大切さについて理解できる。</p> <p>⑥ 自立支援に資するサービスを多職種と協働して総合的、計画的に提供できる能力を身につけることが、自らの将来の達成目標であることを理解できる。</p> <p>⑦ 利用者本位のサービスを提供するため、チームアプローチの重要性とその一員として業務に従事する際の役割、業務等を理解できる。</p> <p>⑧ 利用者、家族、多職種連携との円滑なコミュニケーションのとり方の基本を理解できる。</p> <p>⑨ 的確な記録・記述の大切さを理解できる。</p> <p>⑩ 人権擁護の視点、職業倫理の基本を理解できる。</p> <p>⑪ 介護に関する社会保障の制度、施策、サービス利用の流れについての概要を理解できる。</p> <p>(4) 修了証明書 終了が認定されたものには、別紙1、2の修了証明書を交付する。</p> <p>9 補講の取り扱い (1) 知識・技術の習得が十分でないと判断されたものを対象とし補講を実施する。 (2) 補講に対する授業料は取らない。 (3) 研修課程別の就業年限を上限時間数とする。</p> <p>10 退学規定 (1) 受講者が退学しようとするときは、所定の退学届を提出すること。 (2) 受講者が校会の定める諸規定を守らず、又は受講者の本分にもとる次の行為のあったときには、退学を命ずることがある。 ア 性行不良で改善の見込みがないと認められるとき。 イ 学力劣等で修了の見込みがないと認められるとき。 ウ 正当な理由なくして出席が常でない者。 エ 研修の秩序を乱しているもの。</p> <p>11 講師 別紙3のとおり</p> <p>12 実習施設 なし</p> <p>13 その他 この学則は平成29年4月3日より施行する</p>
研修施設	<p>オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科校舎 (講義) 5・4階普通教室 (実技) 3階介護 入浴実技室</p>
設 備	<p>教育用機械器具及び模型</p>

実習用モデル人形	2体	視聴覚機器	43器
人体骨格模型	1体	障害者用調理器具・食器類	食器10セット
成人用ベッド	10床	和式布団一式	2式
移動用リフト	1台	吸引装置一式	4式
スライディングボード・マット	1台	経管栄養用具一式	4式
車いす	20台	処置台又はワゴン	4台
簡易浴槽	2槽	吸引訓練モデル	4体
ストレッチャー	5個	経管栄養訓練モデル	4体
排せつ用具	男女各8個	心肺蘇生訓練用器材一式	1式
歩行補助つえ	10本	人体解剖模型	1体
盲人安全つえ	8本		

☆研修の概要

研修の概要	<p>●対象・・・学校法人栗原学園 オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 学生 歯科衛生士科 学生 北見情報ビジネス専門学校 学生</p> <p>●研修スケジュール 入学後8ヶ月以内 計130時間（修了試験1時間含めず） 4月中旬より10月下旬 別紙4のとおり</p> <p>●定員 オホーツク社会福祉専門学校 こども未来学科 40名 歯科衛生士科 30名 北見情報ビジネス専門学校 30名</p> <p>●募集・・・入学後担当教員より指示。HR等で公開</p> <p>●費用・・・本科授業料に含まれる</p> <p>●留意事項・・・130時間の受講と修了試験で合格とみなした者に資格を付与する</p>
課程責任者	オホーツク社会福祉専門学校 学校長 棧 邦雄
研修カリキュラム	<p>●科目別シラバス</p> <p>1 職務の理解 介護の社会化と尊厳の保持、 キャリアパスと介護初任者研修 OJT/Off-JTを通じた学習の継続</p> <p>2 介護における尊厳の保持・自立支援 介護サービスの社会的役割、 福祉理念と介護サービスの意義 サービス提供の基本視点、 あるべき主体的な生活 要介護状態の原因疾患について、 介護予防とは 介護予防活動の目標、 介護予防活動を支える5つの考え方</p> <p>3 介護の基本 介護の専門性と他職種連携、 職業倫理と社会的責任 感染対策の基本知識</p> <p>4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 介護保険制度の概要としくみ、 医療行為と非医療行為 リハビリテーションの目的、 障害者の自立</p>

- 障害者に関する法・制度、 成年後見制度
- 5 介護におけるコミュニケーション技術
利用者・家族とのコミュニケーション
他職種連携とコミュニケーション、 観察と記録
- 6 老化の理解
感覚と知覚の変化、 感情の変化、 身体的・精神的変化と病気
生活習慣病とメタボリックシンドローム
高齢者に多い病気と日常生活の留意点
- 7 認知症の理解
認知症の初期症状・診察・診断、 認知症の種類と原因
中核症状、 認知症の人への基本的対応、 認知症家族への支援
- 8 障害の理解
障害とは、障害の受容、 ノーマライゼーションとは
障害の種類と生活上の困難
- 9 こころとからだのしくみと生活支援技術
加齢に伴う変化と心理、 自己表現と生きがい
骨格・関節・筋の名称とはたらき
基本動作とボディメカニクス、 神経系
バイタルチェック、 家事支援の目的と守秘義務
調理の基本と栄養素、 加齢による身体変化と調理工夫
食中毒菌と予防対策、 掃除の基本と洗剤の種類
洗濯の原理と汚れの性質、 被服の基本縫い
住宅内事故の状況と原因、 玄関と階段の採寸と手すり
照明と採光、 空調管理、 福祉用具の活用
身体の清潔の介護：清拭・手浴・足浴
ケリーパッドとベッド上洗髪
鼻・爪・耳・髭剃りの手入れ
口腔の仕組みと口腔ケア・口腔清拭、 口の体操・義歯の手入れ
体位の種類と体位交換介助、 褥瘡の要因、 部位、 予防
衣服の着脱、 移乗介助、 車椅子の構造と操作
ガイドヘルプ、 食事介助、 入浴介助
排泄に関する身体構造と介助、 ベッドメイキング
ターミナルケア

●科目別時間数・担当教官

科目別／科目別特徴	研修時間	担当教官
1 職務の理解（講義）	6時間	桜井、田中、進、間山藤田、門脇、宮ケ丁、林
2 介護における尊厳の保持・自立支援（講義）	9時間	進、間山、藤田、田村
3 介護の基本（講義）	6時間	亀山、畠山、磯江、森下門脇、中川
4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携（講義）	9時間	田中、進、三浦
5 介護におけるコミュニケーション技術（講義）	6時間	佐藤、森下、中川、三浦
6 老化の理解（講義）	6時間	間山、佐藤、森下、中川吉澤
7 認知症の理解（講義）	6時間	坂下、畠山、磯江、福岡
8 障害の理解（講義）	3時間	吉澤、福岡
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間	坂下、桜井、亀山、畠山

			田中、大友、佐藤、田村 三浦、吉澤、宮ケ丁、林 福岡
	10 振り返り	4 時間	坂下、亀山、磯江、門脇 福岡
	合 計	130 時間	
	<p>●修了評価の方法 <修了評価の方法> 130時間の全課程受講終了後、1時間の修了認定試験を実施する <評 価 者 > 評価者は各担当教員とする <再履修基準> 7割を合格基準とし、満たないものは再履修を行う</p>		
講師情報	●講師情報		
	講 師 名	担 当 科 目	資 格 名 専兼別
	坂下 孝江	7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く環境 ②認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみと基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみと基礎的理解 10 振り返り ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	介護福祉士 ケアマネジャー 福祉系学校教員 専
	桜井 由香	1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護	福祉系学校教員 専
	亀山 直樹	3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種の連携 9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 10 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	介護福祉士 専
	島山 友子	3 介護の基本 ②介護職の職業倫理 7 認知症の理解 ②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	介護福祉士 ケアマネジャー 福祉系学校教員 専

	田中 由佳	1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害者総合支援制度及びその他制度 9 こととからだのしくみと生活支援技術 ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護	福祉系学校教員	兼
	大友 佳女	9 こととからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関することとからだのしくみの基礎的理解 ③介護に関することとからだのしくみの基礎的理解 ⑫死にゆく人に関連したこととからだのしくみと 終末期介護 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術	介護福祉士	専
	進 敬	1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ①介護保険制度	福祉系学校教員	兼
	間山 捷平	1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 6 老化の理解 ①老化に伴うこととからだの変化と日常 ②高齢者と健康	福祉系学校教員	兼
	磯江 紀代子	3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種の連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全 7 認知症の理解 ④家族への支援 10 振り返り ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	介護福祉士 ケアマネジャー 福祉系学校教員	兼

	佐藤 領子	<p>5 介護におけるコミュニケーション技術 ②介護におけるコミュニケーション</p> <p>6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常</p> <p>9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと 終末期介護</p>	准看護師	兼
	藤田 礼三	<p>1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解</p> <p>2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護</p>	福祉系学校教員	兼
	森下 敏	<p>3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種の連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全</p> <p>5 介護におけるコミュニケーション技術 ②介護におけるチームコミュニケーション</p> <p>6 老化の理解 ②高齢者と健康</p>	介護福祉士	兼
	門脇 ひとみ	<p>1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解</p> <p>3 介護の基本 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全</p> <p>10 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修</p>	福祉系学校教員	専
	中川 一恵	<p>3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種の連携 ②介護職の職業倫理</p> <p>5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームコミュニケーション</p> <p>6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康</p>	福祉系学校教員	専

	田村 智美	<p>2 介護における尊厳の保持・自立支援</p> <p>①人権と尊厳を支える介護</p> <p>②自立に向けた介護</p> <p>9 ことごとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>⑦食事に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>⑧入浴、清潔保持に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>⑨排泄に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>⑩睡眠に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	福祉系学校教員	専
	三浦 勝敏	<p>4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携</p> <p>①介護保険制度</p> <p>②医療との連携とリハビリテーション</p> <p>③障害者総合支援制度及びその他の制度</p> <p>5 介護におけるコミュニケーション技術</p> <p>①介護におけるコミュニケーション</p> <p>②介護におけるチームコミュニケーション</p> <p>9 ことごとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>⑦整容に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	介護福祉士 ケアマネジャー 福祉系学校教員	専
	吉澤 親代	<p>6 老化の理解</p> <p>①老化に伴うことごとからだの変化と日常</p> <p>②高齢者と健康</p> <p>8 障害の理解</p> <p>①障害の基礎的理解</p> <p>②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎知識</p> <p>9 ことごとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>⑫死にゆく人に関連したことごとからだのしくみと 終末期介護</p>	看護師 福祉系学校教員	専
	宮ケ丁 絵美	<p>1 職務の理解</p> <p>①多様なサービスの理解</p> <p>9 ことごとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>①介護の基本的な考え方</p> <p>②介護に関することごとのしくみの基礎的理解</p>	福祉系学校教員	専
	林 和	<p>1 職務の理解</p> <p>①多様なサービスの理解</p> <p>9 ことごとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>①介護の基本的な考え方</p> <p>②介護に関することごとのしくみの基礎的理解</p>	福祉系学校教員	専
	福岡 太一	<p>7 認知症の理解</p> <p>①認知症を取り巻く状況</p> <p>②認知症に伴うからだの変化と日常生活</p> <p>8 障害の理解</p> <p>③家族の心理、かかわり支援の理解</p>	介護福祉士 ケアマネジャー 福祉系学校教員	専

		<p>9 ころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>①介護に関するころのしくみの基礎的理解</p> <p>⑦移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>10 振り返り</p> <p>⑩振り返り</p>		
実績	●過去の研修実施回数と参加人数（訪問介護員2級・3級含）			
	実施年度	期 間	参加人数	備 考
1	平成12年	平成13年1月15日 ～平成13年4月25日	37名	2級
2	平成13年	平成13年6月1日 ～平成13年8月31日	25名	2級
3	平成14年	平成14年6月4日 ～平成14年7月29日	40名	2級
4	平成14年	平成14年11月8日 ～平成14年11月29日	50名	3級
5	平成15年	平成15年1月15日 ～平成15年4月25日	45名	2級
6	平成15年	平成15年6月9日 ～平成15年8月8日	40名	2級
7	平成16年	平成16年1月19日 ～平成16年4月30日	41名	2級
8	平成16年	平成16年6月7日 ～平成16年8月13日	36名	2級
9	平成17年	平成17年1月17日 ～平成17年4月28日	35名	2級
10	平成17年	平成17年6月6日 ～平成17年8月26日	20名	2級
11	平成18年	平成18年1月17日 ～平成18年4月28日	28名	2級
12	平成18年	平成18年6月5日 ～平成18年8月2日	23名	2級
13	平成19年	平成19年1月22日 ～平成19年4月20日	16名	2級
14	平成20年	平成20年1月21日 ～平成20年4月20日	20名	2級
15	平成20年	平成20年4月15日 ～平成20年12月4日	34名	2級
16	平成21年	平成21年4月14日 ～平成21年12月15日	36名	2級
17	平成22年	平成22年4月12日 ～平成22年9月30日	22名	2級
18	平成22年	平成22年4月13日 ～平成22年11月25日	49名	2級
19	平成23年	平成23年4月12日 ～平成23年9月9日	22名	2級

	20	平成23年	平成23年4月13日 ～平成23年12月2日	56名	2級
	21	平成24年	平成24年5月29日 ～平成24年8月29日	56名	2級
	22	平成24年	平成24年4月13日 ～平成24年9月11日	16名	2級
	23	平成25年	平成25年4月23日 ～平成25年8月17日	29名	2級
	24	平成25年	平成25年4月12日 ～平成25年9月10日	13名	2級
	25	平成26年	平成26年5月20日 ～平成13年8月31日	56名	初任者研修
	26	平成26年	平成26年4月11日 ～平成26年9月4日	10名	初任者研修
	27	平成27年	平成27年4月21日 ～平成27年9月8日	50名	初任者研修
	28	平成28年	平成28年4月14日 ～平成28年7月21日	38名	初任者研修
	29	平成28年	平成28年4月14日 ～平成28年9月6日	8名	初任者研修
	合 計				951名
連絡先等	<ul style="list-style-type: none"> ●申込み 本学園オホーツク社会福祉専門学校、北見情報ビジネス専門学校の学生を対象とし、HRなどで申込を行う ●法人・事業所の苦情対応者 学校長 棧 邦雄 (0157) 24-1560 				

平成29年度 初任者研修(こども未来学科)

回数	日程	曜日	講義時間	時間	授業教室	科目名	項目	主な内容	担当講師
1	2017/4/19	水	3 講目	1.5	39	第1章 職務の理解①	第1節 多様なサービスの理解	1 介護保険による居宅サービス 2 介護保険による施設サービス 3 介護保険外のサービス	桜井 由香
2	2017/4/19	水	4 講目	1.5		第1章 職務の理解②	第2節 介護職の仕事内容や働く現場の理解①	1 介護サービスを提供する現場の実際①	進 敬
3	2017/4/21	金	3 講目	1.5	39	第1章 職務の理解③	第2節 介護職の仕事内容や働く現場の理解②	1 介護サービスを提供する現場の実際②	進 敬
4	2017/4/21	金	4 講目	1.5		第1章 職務の理解④	第2節 介護職の仕事内容や働く現場の理解③	2 介護サービス提供に至るまでの流れ 3 介護過程とチームアプローチ	進 敬
5	2017/4/24	月	3 講目	1.5	39	第2章 介護における尊厳の保持・自立支援①	第1節 人権と尊厳を支える介護①	1 人権と尊厳の保持	間山 捷平
6	2017/4/24	月	4 講目	1.5		第2章 介護における尊厳の保持・自立支援②	第1節 人権と尊厳を支える介護②	2 ICF 3 QOL	間山 捷平
7	2017/4/26	水	3 講目	1.5	39	第2章 介護における尊厳の保持・自立支援③	第1節 人権と尊厳を支える介護③	4 ノーマラゼーション	間山 捷平
8	2017/4/26	水	4 講目	1.5		第2章 介護における尊厳の保持・自立支援④	第1節 人権と尊厳を支える介護④	5 虐待防止・身体拘束禁止	間山 捷平
9	2017/5/1	月	3 講目	1.5	39	第2章 介護における尊厳の保持・自立支援⑤	第2節 自立に向けた介護①	1 自立支援	田村 智美
10	2017/5/1	月	4 講目	1.5		第2章 介護における尊厳の保持・自立支援⑥	第2節 自立に向けた介護②	2 介護予防	田村 智美
11	2017/5/8	月	3 講目	1.5	39	第3章 介護の基本①	第1節 介護職の役割、専門性と他職種との連携	1 介護環境の特徴 2 介護の専門性 3 介護にかかわる職種	磯江紀代子
12	2017/5/8	月	4 講目	1.5		第3章 介護の基本②	第2節 介護職の職業倫理	1 専門職の倫理の意義 2 介護福祉の倫理	畠山 友子
13	2017/5/10	水	3 講目	1.5	39	第6章 老化の理解①	第1節 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴①	1 老化と老年期 2 老年期の発達と老化に伴う心身の返還の特徴①	間山 捷平
14	2017/5/10	水	4 講目	1.5		第6章 老化の理解②	第1節 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴②	3 老年期の発達と老化に伴う心身の返還の特徴②	間山 捷平
15	2017/5/12	金	3 講目	1.5	39	第3章 介護の基本③	第3節 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1 介護における安全の確保 2 事故予防、安全対策 3 感染対策	門脇ひとみ
16	2017/5/12	金	4 講目	1.5		第3章 介護の基本④	第4節 介護職の安全	1 介護職の心身の健康管理 2 感染予防	門脇ひとみ
17	2017/5/15	月	3 講目	1.5	39	第5章 介護におけるコミュニケーション技術①	第1節 介護におけるコミュニケーション①	1 コミュニケーションの意義・目的・役割 2 コミュニケーションの技法	三浦 勝敏
18	2017/5/15	月	4 講目	1.5		第5章 介護におけるコミュニケーション技術②	第1節 介護におけるコミュニケーション②	3 利用者・家族とのコミュニケーションの実際	三浦 勝敏
19	2017/5/17	水	3 講目	1.5	39	第6章 老化の理解③	第2節 高齢者と健康①	1 高齢者の症状・疾患の特徴 2 高齢者の疾患と日常生活上の留意点	間山 捷平
20	2017/5/17	水	4 講目	1.5		第6章 老化の理解④	第2節 高齢者と健康②	3 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点	間山 捷平
21	2017/5/22	月	3 講目	1.5	39	第5章 介護におけるコミュニケーション技術③	第1節 介護におけるコミュニケーション③	4 利用者の状況・状態に応じた コミュニケーション技術の実際	三浦 勝敏
22	2017/5/22	月	4 講目	1.5		第5章 介護におけるコミュニケーション技術④	第2節 介護におけるチームのコミュニケーション	1 記録における情報の共有化 2 報告・連絡・相談 3 コミュニケーションを促す環境	三浦 勝敏
23	2017/5/24	水	3 講目	1.5	39	第7章 認知症の理解①	第1節 認知症を取り巻く環境	1 認知症ケアの理念 2 認知症ケアの視点	福岡 太一
24	2017/5/24	水	4 講目	1.5		第7章 認知症の理解②	第2節 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理①	1 認知症の概念 2 認知症の原因疾患とその病態	畠山 友子
25	2017/5/26	金	3 講目	1.5	39	第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携①	第1節 介護保険制度	1 介護保険制度創設の背景および目的・動向	三浦 勝敏
26	2017/5/26	金	4 講目	1.5		第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携②	第1節 介護保険制度	2 介護保険制度のしくみの基礎的理解	三浦 勝敏
27	2017/5/29	月	3 講目	1.5	39	第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携③	第1節 介護保険制度	3 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割	三浦 勝敏
28	2017/5/29	月	4 講目	1.5		第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携④	第2節 医療との連携とリハビリテーション	1 医行為と介護 2 訪問看護 3 施設における看護と介護の役割・連携 4 リハビリテーション	三浦 勝敏
29	2017/5/31	水	3 講目	1.5	39	第7章 認知症の理解③	第2節 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理②	3 原因疾患別ケアのポイント 4 健康管理	福岡 太一
30	2017/5/31	水	4 講目	1.5		第7章 認知症の理解④	第3節 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 第4節 家族への支援	1 認知症の人の生活障害・心理・行動の特徴 2 認知症の人への対応 1 家族へのレスパイトケア 2 家族へのエンパワメント	畠山 友子
31	2017/6/2	金	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第1節 介護の基本的な考え方	1 理論にもとづく介護 2 法的根拠にもとづく介護	佐藤 領子
32	2017/6/2	金	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第3節 介護に関するからだのしくみの基礎知識①	1 生命の維持・恒常のしくみ 2 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識	佐藤 領子
33	2017/6/5	月	3 講目	1.5	39	第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携⑤	第3章 障害者自立支援制度およびその他の制度	1 障害者福祉制度の概念 2 障害者自立支援制度のしくみの基礎的利器	三浦 勝敏
34	2017/6/5	月	4 講目	1.5		第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携⑥	第3章 障害者自立支援制度およびその他の制度	3 個人の人権を守る制度の概要	三浦 勝敏
35	2017/6/7	水	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第3節 介護に関するからだのしくみの基礎知識②	3 骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用	佐藤 領子

回数	日程	曜日	講義時間	時間	授業教室	科目名	項目	主な内容	担当講師
36	2017/6/7	水	4 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第3節 介護に関するからだのしくみの基礎知識③	4 中枢神経と体性神経に関する基礎知識	佐藤 領子
37	2017/6/9	金	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第3節 介護に関するからだのしくみの基礎知識④	5 自律神経と内部器官に関する基礎知識①	佐藤 領子
38	2017/6/9	金	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第3節 介護に関するからだのしくみの基礎知識⑤	5 自律神経と内部器官に関する基礎知識②	佐藤 領子
39	2017/6/12	月	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第2節 介護に関するこころのしくみの基礎的理解①	1 学習と記憶に関する基礎知識 2 感情と意欲に関する基礎知識	佐藤 領子
40	2017/6/12	月	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1章 介護に関する基礎的理解 第2節 介護に関するこころのしくみの基礎的理解②	3 自己概念と生きがい 4 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因	佐藤 領子
41	2017/6/13	火	3 講目	1.5	こども校舎	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第1節 生活と家事①	1 生活と家事の理解 2 家事支援に関する基礎的理解と生活支援①	桜井 由香
42	2017/6/13	火	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第1節 生活と家事②	2 家事支援に関する基礎的理解と生活支援②	桜井 由香
43	2017/6/16	金	3 講目	1.5	こども校舎	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第1節 生活と家事③	2 家事支援に関する基礎的理解と生活支援③	桜井 由香
44	2017/6/16	金	4 講目	1.5	実技室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第8節 睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護①	2 睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 実技・・・ベッドメイキング	畠山 友子
45	2017/6/19	月	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第8節 睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護②	1 睡眠に関する基礎知識 2 睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法	畠山 友子
46	2017/6/19	月	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第8節 睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護③	3 快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法	畠山 友子
47	2017/6/20	火	3 講目	1.5	実技室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第8節 睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	実技・・・ベッドメイキング	畠山 友子
48	2017/6/20	火	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第3節 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護①	2 整容の介護技術 実技・・・洗面・整髪・髭剃り・爪切り・耳かき	三浦 勝敏
49	2017/6/23	金	3 講目	1.5	こども教室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第7節 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護①	2 整容の介護技術 実技・・・衣服の着脱①	三浦 勝敏
50	2017/6/23	金	4 講目	1.5	実技室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第7節 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護②	2 整容の介護技術 実技・・・衣服の着脱②	三浦 勝敏
51	2017/6/26	月	3 講目	1.5	39	第8章 障がいの理解	第1節 障がいの基礎的理解 第2節 障がいの医学的側面、生活障害などの基礎知識①	1 障がいの概念とICF 2 障がい者福祉の基本理念 1 身体障がい	吉澤 親代
52	2017/6/26	月	4 講目	1.5		第8章 障がいの理解	第2節 障がいの医学的側面、生活障害などの基礎知識② 第3節 家族の心理、かわり支援の理解	2 知的障害 3 精神障害 4 発達障害 5 難病 1 家族の理解と障害の受容支援 2 介護負担の軽減	吉澤 親代
53	2017/6/28	火	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	実技・・・車椅子介助	福岡 太一
54	2017/6/28	火	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 移動・移乗に関する基礎知識 2 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法	福岡 太一
55	2017/6/30	金	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第5節 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 食事に関する基礎知識①	田村 智美
56	2017/6/30	金	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第5節 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 食事に関する基礎知識② 2 食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法	田村 智美
57	2017/7/3	月	3 講目	1.5	39	2 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第2節 快適な居住環境整備と介護	1 快適な居住環境に関する基礎知識	桜井 由香
58	2017/7/3	月	4 講目	1.5		2 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第2節 快適な居住環境整備と介護	2 高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具の活用	桜井 由香
59	2017/7/4	火	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	実技・・・歩行介助、体位変換、	福岡 太一
60	2017/7/4	火	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4 移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法	福岡 太一
61	2017/7/7	金	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第5節 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2 食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法②	田村 智美
62	2017/7/7	金	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2 食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法③	田村 智美
63	2017/7/10	月	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第9節 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	1 終末期に関する基礎知識 2 生から死への過程	吉澤 親代
64	2017/7/10	月	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第9節 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	3 「死」に向き合うこころの理解	吉澤 親代
65	2017/7/11	火	3 講目	1.5	実技室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	実技・・・トランスファー①	福岡 太一
66	2017/7/11	火	4 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法	福岡 太一
67	2017/8/21	月	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第4節 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5 移動と社会参加の留意点と支援	福岡 太一
68	2017/8/21	月	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第6節 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 入浴・清潔保持に関する基礎知識	田村 智美
69	2017/8/22	火	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第2章 自立に向けた介護の展開 第5節 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	実技・・・口腔ケア	田村 智美
70	2017/8/22	火	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第6節 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2 入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法	田村 智美
71	2017/8/25	金	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第6節 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 楽しい入浴を阻害する要因の理解とその支援方法	田村 智美

回数	日程	曜日	講義時間	時間	授業教室	科目名	項目	主な内容	担当講師
72	2017/8/25	金	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第7節 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 排泄に関する基礎知識	畠山 友子
73	2017/8/28	月	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第6節 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	実技・・・入浴介助	田村 智美
74	2017/8/28	月	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第3章 生活支援技術演習 第1節 介護過程の基礎的理解③	2 介護過程とチームアプローチ	畠山 友子
75	2017/8/30	水	3 講目	1.5	実技室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第7節 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 排泄に関する基礎知識	畠山 友子
76	2017/8/30	水	4 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第7節 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2 排泄環境の整備と関連する用具の活用方法	畠山 友子
77	2017/9/1	金	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第7節 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	2 排泄環境の整備と関連する用具の活用方法②	畠山 友子
78	2017/9/1	金	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第7節 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	畠山 友子
79	2017/9/4	月	3 講目	1.5	39	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第3章 生活支援技術演習 第1節 介護過程の基礎的理解①	1 介護過程の目的・意義・展開①	畠山 友子
80	2017/9/4	月	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第3章 生活支援技術演習 第1節 介護過程の基礎的理解②	1 介護過程の目的・意義・展開②	畠山 友子
81	2017/9/5	火	3 講目	1.5	こども教室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第3章 生活支援技術演習 第2節 総合生活支援技術演習	1 演習を行うにあたって	吉澤 親代
82	2017/9/5	火	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第3章 生活支援技術演習 第2節 総合生活支援技術演習	2 「食べたくない」と訴える施設入所者の援助	吉澤 親代
83	2017/9/8	金	3 講目	1.5	こども教室	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第3章 生活支援技術演習 第2節 総合生活支援技術演習	3 できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の援助	吉澤 親代
84	2017/9/8	金	4 講目	1.5		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	第3章 生活支援技術演習 第2節 総合生活支援技術演習	4 トイレでの排泄にこだわりをもつ利用者の援助	吉澤 親代
85	2017/9/11	月	3 講目	1.5	こども教室	研修を終えての振り返り	研修を終えての振り返り①	1 介護職に求められるもの ①研修を修了して感じたこと、考えたこと	福岡 太一
86	2017/9/11	月	4 講目	1.5		研修を終えての振り返り	研修を終えての振り返り②	1 介護職に求められるもの ② 介護職が大切にすべき視点	福岡 太一
87	2017/9/13	水	3 講目	1		研修を終えての振り返り	研修を終えての振り返り③	2 継続的な研修の必要性	門脇ひとみ
88	2017/9/13	水	4 講目	1			修了試験	修了試験	